

「資源循環型パッケージングカンパニー」を目ざして

2026年12月期第1四半期決算説明資料

資料構成

1. 2026年12月期第1四半期トピックス

2. 2026年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2026年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、37億87百万円（前年同期比1.1%増）
- 連結営業利益は、2億95百万円（前年同期比28.5%増）
- EBITDAは、5億48百万円（前年同期比13.9%増）

【状況】

- 連結売上高は日本の減収に対して海外市場が増収となり、前年同期比増
- 連結営業利益は日本、インドによる利益率上昇が貢献し前年同期比増
- バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、軽量化容器、詰替え容器、Recyclable容器など資源循環型パッケージング売上は10億4百万円(連結売上高の26.5%) となり、前年同期比増

1. 2026年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ②

【日本】

- 主要顧客との接触頻度向上やWEBでの製品紹介など営業活動の強化を継続。当四半期の新規受注金額は増加したが、リピート案件売上が減少し、売上高は28億23百万円(前年同期比4.2%減)と減収となった
- 資源循環型パッケージングはバイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器の売上高が増加
- 製品種類別ではスタンダードボトルの売上増加が粗利額、粗利率上昇に貢献、営業利益は2億8百万円(前年同期比15.2%増)と増益となった

1. 2026年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ③

【インド】

- 化粧品市場の活況に加え、デザインや品質への高い評価から取引顧客数が増加、売上高は2億90百万円（前年同期比57.2%増）と四半期ベースでの過去最高額を更新
- 受注機会の拡大を目的とした品揃え強化、生産能力向上に向けた設備投資を継続
- 自社設備の増強と並行して新規の社外仕入メーカーの開拓も進め、さらなる供給体制の拡充を図る

【中国】

- 消費者の節約志向が続き、同業他社との競争激化もある中で、化粧品向けを中心に営業強化に注力し、売上高は6億76百万円(前年同期比11.6%増)となった。さらなる新規顧客開拓拡大を目指し、2026年3月に北京の展示会へ出展
- 利益面では生産現場での自動化・省力化ラインの範囲を拡張することで、原価低減を継続し営業黒字を確保

1. 2026年12月期第1四半期トピックス

中東情勢の悪化による影響

【当社の事業形態】

- 当社は日本、中国、インドに生産拠点を、米国、欧州、タイには販売拠点を構え、包装容器等の製造販売を展開
- 主要な生産拠点（日本・中国・インド）においては、原材料の調達から生産、販売までを現地で行っている

【現状とその影響及び対応策について】

- 中東情勢の悪化により、各生産拠点における石油関連製品価格が上昇。樹脂原材料価格については、中国・インドでは3月より、日本では4月納入分より順次上昇しており、生産コストが変動する見込み
- 製品の安定供給に努めるとともに、市場動向を注視して顧客との対話を強化し、販売価格への反映を進めていく方針

資料構成

1. 2026年12月期第1四半期トピックス

2. 2026年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2026年12月期第1四半期業績概要

2026年12月期第1四半期連結決算ハイライト

	2025年第1四半期 (1-3月期) ¥20.94/RMB ¥152.55/USD	2026年第1四半期 (1-3月期) ¥22.67/RMB ¥156.96/USD	前年同期比		2026年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 3,748	百万円 3,787	百万円 +39	+1.1%	百万円 ▲305	▲7.5%
営業利益	230	295	+65	+28.5%	▲23	▲7.2%
売上高営業利益率	6.1%	7.8%	+1.7P	—	+0.0P	—
経常利益	244	281	+37	+15.4%	▲50	▲15.1%
四半期純利益	188	202	+14	+7.5%	▲43	▲17.7%
減価償却費	251	252				
原材料費	559	620				
設備投資額	172	372				
(うち 金型)	35	110				
EBITDA	481	548				
EBITDA比率	12.8%	14.5%				

2. 2026年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2025年第1四半期	2026年第1四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,948	2,823	▲124	▲4.2%	▲267	▲8.6%
営業利益	181	208	+27	+15.2%	▲59	▲22.3%
営業利益率	6.1%	7.4%	+1.2P	—	▲1.3P	—

中国	2025年第1四半期 ¥20.94/RMB	2026年第1四半期 ¥22.67/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	606 (28)	676 (29)	+70 (+0)	+11.6% +3.0%	▲29 (▲4)	▲4.2% ▲13.3%
営業利益	16 (+0)	6 (+0)	▲10 (▲0)	— —	+14 (+0)	— —
営業利益率	2.7%	0.9%	▲1.8P	—	+2.1P	—

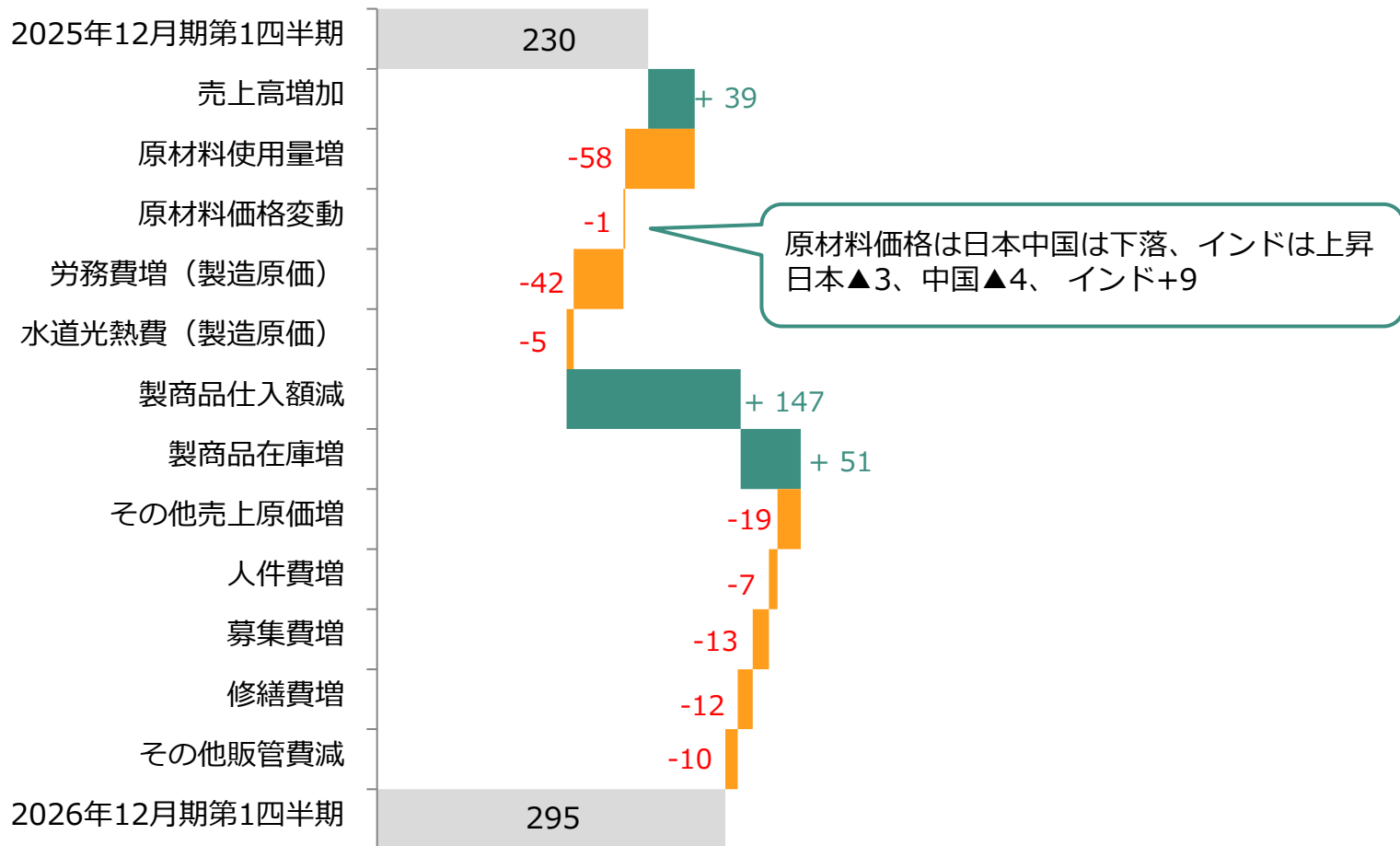
※ () 内はRMBベース:百万円

その他地域	2025年第1四半期 ¥152.55/US\$ ¥160.55/€ ¥1.77/INR ¥4.49/TB	2026年第1四半期 ¥156.96/US\$ ¥183.65/€ ¥1.73/INR ¥4.97/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	257	378	+121	+46.9%	+27	7.9%
営業利益	29	82	+52	+179.3%	+24	41.1%
営業利益率	11.5%	21.8%	+10.3P	—	+5.1P	—

2. 2026年12月期第1四半期業績概要

2026年12月期第1四半期 営業利益の変動分析

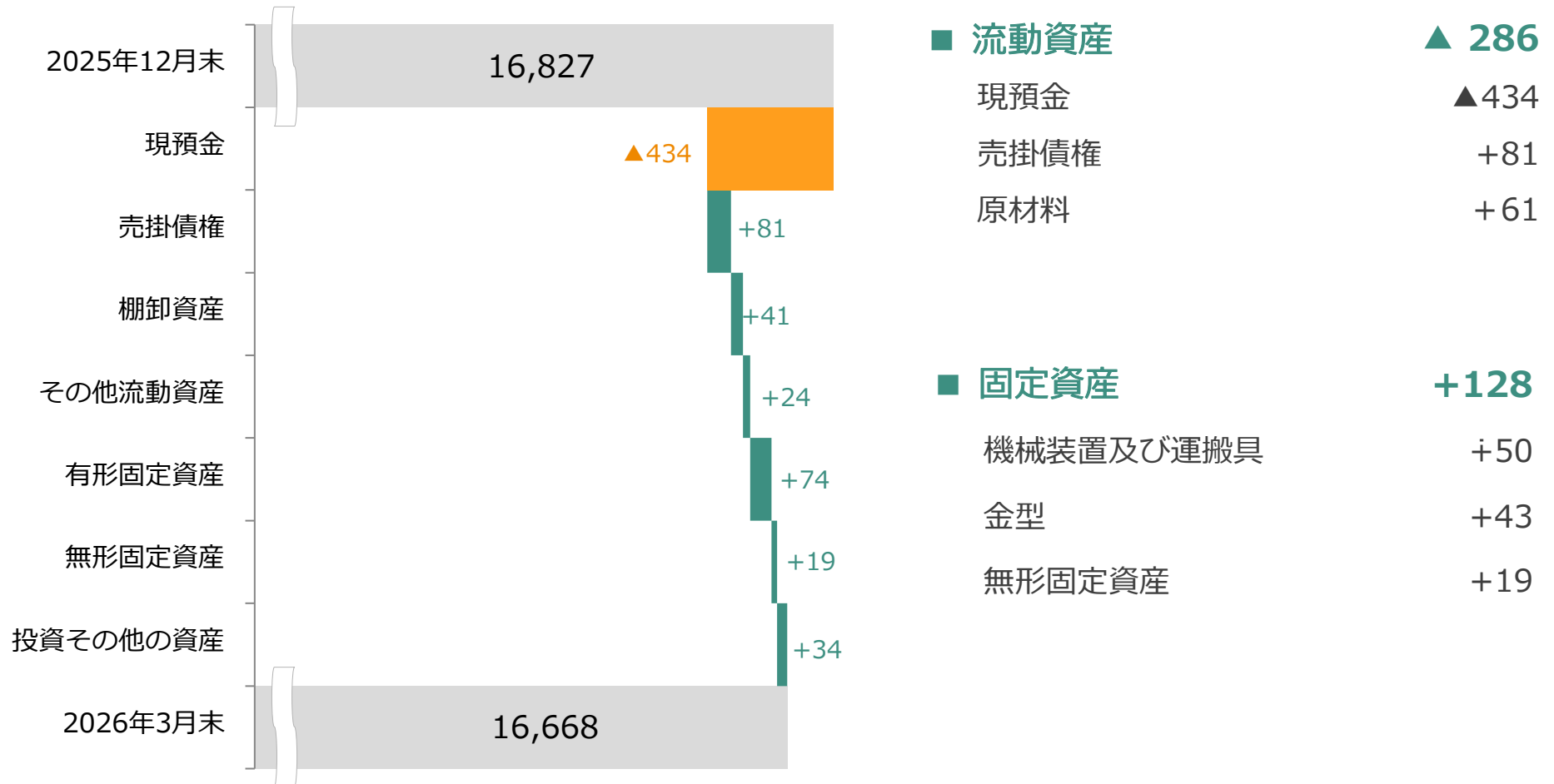
単位：百万円



2. 2026年12月期第1四半期業績概要

2026年12月期第1四半期 連結貸借対照表 資産の部

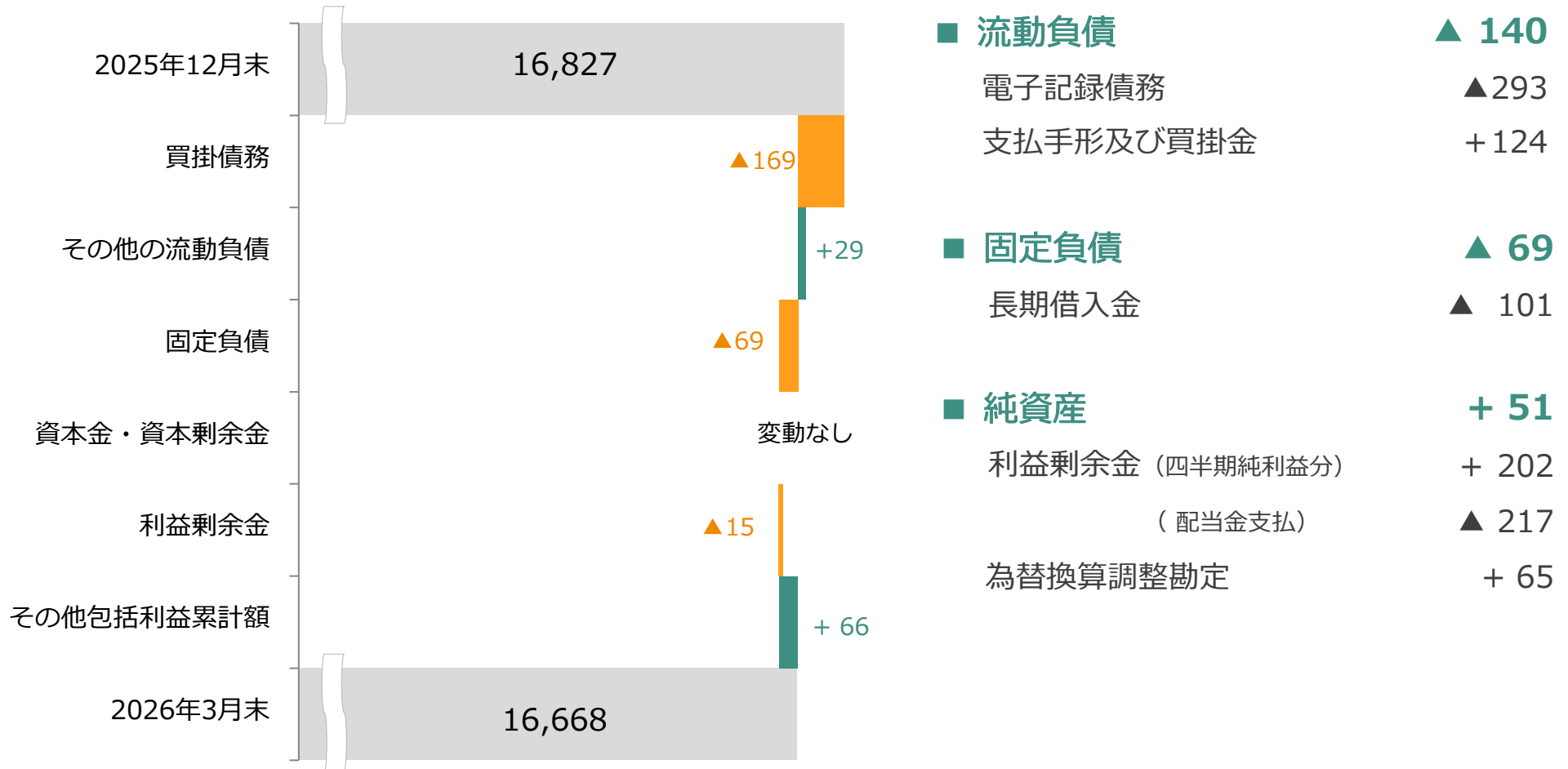
単位：百万円



2. 2026年12月期第1四半期業績概要

2026年12月期第1四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2026年12月期第1四半期トピックス
2. 2026年12月期第1四半期業績概要
3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2024年からの四半期推移）

(百万円)

地域		2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期	2025年 第2四半期	2025年 第3四半期	2025年 第4四半期	2026年 第1四半期
日本	売上高	3,066	3,208	3,344	2,899	2,948	2,694	2,640	2,725	2,838
	粗利額	834	945	920	782	814	848	835	848	866
	営業利益	205	303	285	134	181	225	203	190	208
中国	売上高	555	665	594	623	606	626	675	583	676
	粗利額	149	178	141	176	167	147	159	138	165
	営業利益	▲4	6	▲12	28	16	5	6	▲18	6
欧米	売上高	40	49	85	64	51	48	73	97	55
	粗利額	11	12	22	12	15	15	21	31	22
	営業利益	▲4	▲3	2	▲5	▲4	0	6	14	7
その他 アジア	売上高	152	167	153	185	206	248	273	258	323
	粗利額	28	36	27	51	67	72	87	91	121
	営業利益	▲3	2	▲7	12	34	38	41	44	75
連結	売上高	3,750	4,042	4,110	3,722	3,748	3,558	3,598	3,586	3,787
	粗利額	1,026	1,169	1,112	1,020	1,065	1,086	1,103	1,107	1,174
	粗利率	27.4%	28.9%	27.1%	27.4%	28.4%	30.5%	30.7%	30.9%	31.0%
	営業利益	197	305	270	172	230	270	257	233	295
	利益率	5.3%	7.5%	6.6%	4.6%	6.1%	7.6%	7.1%	6.5%	7.8%

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2021年からの年間推移）

(百万円)

地域		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	12,005	+3.0%	11,390	▲5.1%	11,403	+0.1%	12,519	+9.8%	11,009	▲12.1%
	粗利額	3,942	+0.6%	3,341	▲15.2%	3,272	▲2.1%	3,482	+6.4%	3,347	▲3.9%
	営業利益	1,485	+3.9%	922	▲37.9%	827	▲10.3%	928	+12.2%	800	▲13.8%
中国	売上高	3,544	+12.5%	3,165	▲10.7%	2,434	▲23.1%	2,438	+0.2%	2,492	+2.2%
	粗利額	971	▲2.2%	651	▲33.0%	391	▲39.8%	645	+64.7%	612	▲5.1%
	営業利益	335	▲29.0%	▲59	—	▲274	—	18	—	9	▲48.0%
欧米	売上高	297	+61.2%	206	▲30.5%	231	+12.0%	241	+4.4%	270	+12.0%
	粗利額	62	+49.4%	60	▲2.1%	57	▲4.9%	58	+0.8%	83	+42.9%
	営業利益	3	—	7	+147.8%	▲7	—	▲12	—	15	—
その他 アジア	売上高	181	+64.7%	321	+77.6%	493	53.4%	659	+33.5%	986	+49.6%
	粗利額	2	—	55	+2,472%	93	66.9%	143	+53.9%	319	+123.4%
	営業利益	▲74	—	▲41	—	▲31	—	4	—	158	—
連結	売上高	15,776	+6.1%	14,885	▲5.6%	14,317	▲3.8%	15,626	+9.1%	14,491	▲7.3%
	粗利額	4,979	+1.4%	4,107	▲17.5%	3,818	▲7.1%	4,329	+13.4%	4,363	+0.8%
	営業利益	1,754	▲1.3%	836	▲52.4%	522	▲37.6%	945	+81.1%	991	+4.9%

3. 参考資料

区分別販売実績（2024年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期	2025年 第2四半期	2025年 第3四半期	2025年 第4四半期	2026年 第1四半期
化粧・美容	2,345	2,593	2,638	2,272	2,330	2,037	2,094	2,127	2,238
日用・雑貨	257	249	255	241	239	259	242	258	312
食品・ 健康食品	348	390	383	328	324	369	368	336	351
化学・医薬	239	186	257	235	205	257	250	226	209
卸、その他	559	622	576	645	649	633	642	637	675
合計	3,750	4,042	4,110	3,723	3,748	3,558	3,598	3,586	3,787

区分別販売実績（2024年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期	2025年 第2四半期	2025年 第3四半期	2025年 第4四半期	2026年 第1四半期
スタンダード ボトル	2,687	3,091	3,063	2,791	2,775	2,853	2,907	2,855	3,112
ビスポーク	376	363	364	376	410	380	391	399	364
他社製品	632	543	653	529	526	298	260	306	285
材料その他	54	44	29	24	35	26	39	25	24
合計	3,750	4,042	4,110	3,723	3,748	3,558	3,598	3,586	3,787

3. 参考資料

区分別販売実績（2021年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2021年は衛生関連用品需要は一段落したものの、口臭衛生関連は需要増で化学・医薬は伸長。資源循環型パッケージングの伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大。2022年は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波と繰り返される感染者数増加の影響もあり、化粧品需要が本格的に回復するまでには至らず前年並み。前年度の口臭衛生関連の需要は一段落し、化学・医薬品は減少。2023年は4Qの化粧品、食品向けの受注増で売上は前年並みを確保。中国は売上大幅減もインドは化粧品向け好調。2024年は大型の受注案件増により化粧・美容関係が大幅増。中国は消費者の節約志向や競争激化によりほぼ前年並み。2025年は前年好調だった化粧・美容関係の大口受注、スポット案件が大幅減。中国はデフレ圧力が強く化粧品分野での競争が激しい。一方、インドは化粧品市場が活況で売上高が過去最高を更新

(百万円)

	2021年			2022年			2023年			2024年			2025年		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
化粧・美容	8,904	56.4	9.3	8,938	60.0	0.4	8,415	58.8	▲5.8	9,850	63.0	17.1	8,590	59.3	▲12.8
日用・雑貨	930	5.9	▲8.7	845	5.7	▲9.1	986	6.9	16.6	1,002	6.4	1.7	1,001	6.9	▲0.2
食品・健康食品	1,470	9.3	9.1	1,335	9.0	▲9.2	1,389	9.7	4.0	1,450	9.3	4.4	1,398	9.7	▲3.6
化学・医薬	1,096	7.0	20.9	805	5.4	▲26.5	786	5.5	▲2.4	917	5.9	16.7	938	6.5	2.4
卸、その他	3,374	21.4	▲2.0	2,960	19.9	▲12.3	2,740	19.1	▲7.4	2,404	15.4	▲12.2	2,561	17.7	6.5
合計	15,776	100.0	6.1	14,885	100.0	▲5.6	14,317	100.0	▲3.8	15,626	100.0	9.1	14,491	100.0	▲7.3

3. 参考資料

受注実績（2024年からの四半期推移）

(百万円)

	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期	2025年 第2四半期	2025年 第3四半期	2025年 第4四半期	2026年 第1四半期
国内	3,253	3,535	3,025	2,950	2,962	2,628	2,761	2,930	3,107
海外	896	781	794	887	795	1,030	881	988	1,214
(うち中国)	668	549	566	657	549	691	531	595	788
連結合計	4,155	4,310	3,819	3,837	3,757	3,658	3,642	3,919	4,322

受注実績（2021年からの年間推移）

2021年は資源循環型パッケージングの需要増あるも年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少。2022年は国内は3月までの行動制限の影響や下期の第7波、8波の影響もあり、化粧品需要は本格的な回復に至らず。中国はゼロコロナ政策による移動制限の影響で需要が停滞。2023年は日本は年度後半から受注回復基調へ。一方、中国は景気低迷による消費減から受注が大幅減。2024年は国内の大口受注案件、スポット案件により大幅増。中国は消費者の節約志向や競争激化の中でも営業活動の取り組みを強化し受注増となる。インドは化粧品市場の活況が継続し取引顧客層も拡大し受注増。2025年は国内は大口案件、リピート案件が大幅減少。一方、海外は中国で受注が減少したものの、インドが受注旺盛で海外全体の受注実績は10.0%増と伸長

(百万円)

	2021年		2022年		2023年		2024年		2025年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	12,274	▲1.4%	11,841	▲3.5%	12,347	4.2%	12,764	3.4%	11,281	▲11.6%
海外	4,034	12.1%	3,398	▲15.7%	2,934	▲13.7%	3,359	14.5%	3,696	10.0%
(うち中国)	3,504	7.6%	2,871	▲18.1%	2,229	▲22.3%	2,401	7.7%	2,367	▲1.4%
連結合計	16,308	1.6%	15,240	▲6.5%	15,282	2.3%	16,123	5.5%	14,978	▲7.1%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

	2024年 第1四半期	2024年 第2四半期	2024年 第3四半期	2024年 第4四半期	2025年 第1四半期	2025年 第2四半期	2025年 第3四半期	2025年 第4四半期	2026年 第1四半期
円／元	20.63	21.07	20.99	21.04	20.94	20.44	20.50	20.81	22.67
円／米ドル	148.63	152.36	151.46	151.69	152.55	148.40	148.08	149.61	156.96
円／ユーロ	161.33	164.70	164.56	164.05	160.55	162.25	165.69	169.19	183.65
円／ルピー	1.80	1.84	1.83	1.82	1.77	1.73	1.72	1.73	1.73
円／バーツ	4.17	4.21	4.24	4.30	4.49	4.43	4.47	4.56	4.97

3. 参考資料

金型開発状況 金型の資産状況

4,314型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年1Q (金型数)
日本	完成金型数	97	93	65	116	51	115	25
	廃却・移動	▲99	▲16	▲30	▲53	▲26	▲28	-
	保有金型数	2,319	2,396	2,431	2,494	2,519	2,606	2,631
中国	完成金型数	84	89	32	37	45	67	24
	廃却・移動	▲159	▲8	▲19	▲15	▲8	-	-
	保有金型数	1,109	1,190	1,203	1,225	1,262	1,329	1,353
オランダ	完成金型数	4	-	-	-	-	-	-
	廃却・移動	-	▲23	-	-	-	-	-
	保有金型数	23	-	-	-	-	-	-
インド	完成金型数	48	45	31	35	46	22	7
	廃却・移動	-	-	-	23	9	19	-
	保有金型数	93	138	169	227	282	323	330
連結	完成金型数合計	233	227	128	188	142	204	56
	保有金型数	3,544	3,724	3,803	3,946	4,063	4,258	4,314
		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年1Q (百万円)
連結取得金額		4,654	5,003	5,220	5,541	5,825	6,193	6,332
連結減価償却累計額		▲4,163	▲4,453	▲4,743	▲5,113	▲5,333	▲5,585	▲5,681
連結金型(純額)		490	550	477	540	491	607	651
純額割合		10.3%	11.0%	9.1%	9.8%	8.4%	9.8%	10.3%



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子

会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 容器の企画・開発・製造・販売

資本金 8億342万1,725円（2025年12月31日現在）

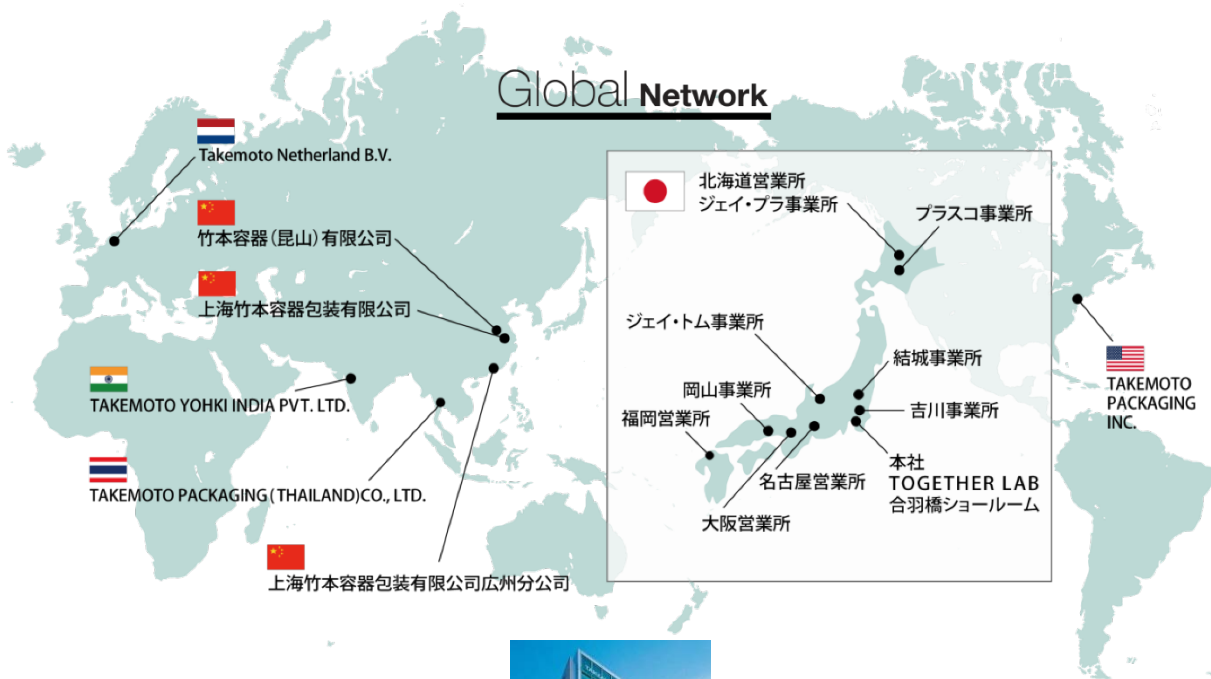
発行済株式数 12,529,200株（2025年12月31日現在）

単元株主数 13,876名（2025年12月31日現在）

グループ従業員数 767名（2025年12月31日現在）

上場市場 東京証券取引所スタンダード市場
[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために